



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月28日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月2日 配当支払開始予定日 平成28年9月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	29,013	△1.4	2,217	△9.9	2,291	△9.9	1,483	△9.1
27年12月期第2四半期	29,434	—	2,461	—	2,541	—	1,632	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年12月期第2四半期	円 銭 52 43	円 銭 —
27年12月期第2四半期	円 銭 57 70	円 銭 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年12月期第2四半期	百万円 97,676	百万円 83,456	% 85.4
27年12月期	98,868	82,826	83.8

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 83,454百万円 27年12月期 82,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 48 00
28年12月期	—	24 00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	△2.2	3,000	△39.0	3,100	△39.6	2,000	△43.3	70 67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2016年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年12月期2Q	28,800,000株	27年12月期	28,800,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

28年12月期2Q	500,811株	27年12月期	500,768株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期2Q	28,299,192株	27年12月期2Q	28,299,840株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

	平成27年12月期 第2四半期累計期間	平成28年12月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	29,434	29,013	△420	△1.4%
営業利益(百万円)	2,461	2,217	△244	△9.9%
経常利益(百万円)	2,541	2,291	△250	△9.9%
四半期純利益(百万円)	1,632	1,483	△149	△9.1%

売上高は、平成28年4月に実施された薬価改定において、通常の薬価引き下げのほか、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」及び「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が市場拡大再算定の対象品目となったこと等により、29,013百万円と前年同期に比べ420百万円(1.4%)減少しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「リオナ錠」が2,635百万円と前年同期に比べ413百万円(18.6%)、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」が1,731百万円と前年同期に比べ320百万円(22.7%)、「シダトレン スギ花粉舌下液(減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)」が382百万円と前年同期に比べ229百万円(150.6%)、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が6,227百万円と前年同期に比べ95百万円(1.6%)それぞれ増加しましたが、「レミッチカプセル」が6,696百万円と前年同期に比べ723百万円(9.7%)、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が3,166百万円と前年同期に比べ203百万円(6.0%)それぞれ減少しました。

費用面におきましては、売上原価は14,155百万円と前年同期に比べ4百万円(0.0%)減少し、販売費及び一般管理費はパソコン更新による一過性の費用の発生がありましたが、研究開発費が減少したこと等により、12,640百万円と前年同期に比べ171百万円(1.3%)減少しました。

以上の結果、営業利益は2,217百万円と前年同期に比べ244百万円(9.9%)減少し、経常利益は2,291百万円と前年同期に比べ250百万円(9.9%)減少しました。四半期純利益につきましては、1,483百万円と前年同期に比べ149百万円(9.1%)減少しました。

なお、日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)から平成27年3月に販売権を取得した抗HIV薬「ゲンボイヤ配合錠(エルビテグラビル/コビススタット/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠)」につきまして、平成28年7月に販売を開始しました。

また、日本イーライリリー株式会社(以下、「日本イーライリリー」)が、平成28年7月に製造販売承認を取得した乾癬治療薬「トルツ(※)」につきましては、平成28年1月に日本イーライリリーと締結した戦略的販売提携契約に基づき、皮膚疾患領域において、コ・プロモーション(共同販売促進)を開始しました。

※日本イーライリリーが開発した「中等症から重症の尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症」を適応症とした、ヒト化抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体「イクセキズマブ(遺伝子組換え)製剤」。

## (2) 財政状態

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、97,676百万円と前事業年度末に比べ1,192百万円(1.2%)減少しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が13,148百万円、商品及び製品が1,284百万円増加しましたが、有価証券が10,901百万円、受取手形及び売掛金が2,845百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が1,782百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、14,220百万円と前事業年度末に比べ1,822百万円(11.4%)減少しました。これは、未払法人税等が1,056百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、83,456百万円と前事業年度末に比べ629百万円(0.8%)増加しました。これは、主に利益剰余金が804百万円増加したことによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、36,600百万円と前事業年度末に比べ390百万円(1.1%)増加しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が2,275百万円、減価償却費が671百万円、売上債権の減少額が2,845百万円となり、たな卸資産の増加額が1,926百万円、法人税等の支払額が1,863百万円となったこと等により1,005百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は2,809百万円の収入)

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が188百万円となりましたが、有価証券の売却及び償還による収入が600百万円となったこと等により260百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は233百万円の収入)

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が679百万円となったことにより876百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は723百万円の支出)

## (3) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は2,038百万円であります。

なお、高リン血症治療剤「リオナ錠」(JT開発番号:JTT-751)につきまして、JTと共同で、鉄欠乏性貧血を新適応症とする国内第Ⅱ相臨床試験を開始しております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2016年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

## (4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成28年2月3日「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の当該予想数値を以下のとおり修正しております。

	平成28年12月期 前回予想	平成28年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	平成27年12月期 実績
売上高(百万円)	61,000	61,000	—	—	62,378
営業利益(百万円)	3,300	3,000	△300	△9.1%	4,919
経常利益(百万円)	3,400	3,100	△300	△8.8%	5,135
当期純利益(百万円)	2,300	2,000	△300	△13.0%	3,527

売上高は、概ね計画のとおり進捗しており、前回予想数値からの変更はありません。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費において、一定の経費節減効果を見込んでおりますが、研究開発費については当初計画を上回る見込みとなったことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回発表予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,361	13,403
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	4,348	17,496
受取手形及び売掛金	27,904	25,058
有価証券	18,708	7,806
商品及び製品	6,132	7,416
仕掛品	508	837
原材料及び貯蔵品	3,195	3,508
その他	1,994	2,300
流動資産合計	77,155	77,829
固定資産		
有形固定資産	6,182	5,908
無形固定資産	955	890
投資その他の資産	14,575	13,047
固定資産合計	21,713	19,846
資産合計	98,868	97,676
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,853	6,728
未払法人税等	1,915	858
賞与引当金	660	670
役員賞与引当金	54	23
返品調整引当金	1	1
その他	4,988	4,345
流動負債合計	14,472	12,628
固定負債		
退職給付引当金	393	490
その他	1,176	1,101
固定負債合計	1,569	1,591
負債合計	16,042	14,220
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	71,384	72,189
自己株式	△863	△863
株主資本合計	82,127	82,931
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	698	522
評価・換算差額等合計	698	522
新株予約権	—	1
純資産合計	82,826	83,456
負債純資産合計	98,868	97,676

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	29,434	29,013
売上原価	14,159	14,155
売上総利益	15,274	14,858
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,386	2,357
給料及び手当	3,083	3,115
賞与引当金繰入額	556	569
研究開発費	2,350	2,038
その他	4,434	4,559
販売費及び一般管理費合計	12,812	12,640
営業利益	2,461	2,217
営業外収益		
受取利息	43	27
受取配当金	9	12
為替差益	4	23
その他	24	11
営業外収益合計	82	74
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	2,541	2,291
特別損失		
固定資産除却損	41	15
特別損失合計	41	15
税引前四半期純利益	2,500	2,275
法人税等	867	792
四半期純利益	1,632	1,483



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,500	2,275
減価償却費	700	671
受取利息及び受取配当金	△52	△40
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	40	15
売上債権の増減額(△は増加)	622	2,845
たな卸資産の増減額(△は増加)	△885	△1,926
仕入債務の増減額(△は減少)	98	△125
未払金の増減額(△は減少)	437	△467
長期前払費用の増減額(△は増加)	441	△156
その他	△913	△275
小計	2,990	2,817
利息及び配当金の受取額	58	51
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△239	△1,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,809	1,005
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	900	600
有形固定資産の取得による支出	△457	△188
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△210	△151
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	233	260
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△565	△679
リース債務の返済による支出	△156	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△723	△876
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,319	390
現金及び現金同等物の期首残高	31,894	36,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,213	36,600

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。